

(様式1)

令和4年度 政務活動費 内訳

会派名：政友クラブ

議員名 項 目	藤崎 勇一				計
調査研究費 ①燃料費 (年間支出額)		()	()	()	
調査研究費 ②通信費 (年間支出額)		()	()	()	
調査研究費 ③通信費					
調査研究費 ①～③以外					
研修費					
広報費	800,058				
広聴費					
要請及び 陳情活動費					
会議費					
資料作成費					
資料購入費 ①新聞購読料					
資料購入費 ②その他					
人件費					
事務所費					
計	800,058				

令和4年度政務活動費報告

3. 広報費

[illegible]

(様式3)

3. 広報費

《領収書添付用》

議員名 藤崎 勇一

①

領 収 証		No. 000787
藤崎 勇一 様		年 月 日
金 額	¥14850-	得 担
税抜金額		現金
消費税額		小切手
但		(振 込)
上記の金額正に領収致しました		
株式会社 エリート情報社		
本 社 〒286-0134 千葉県成田市東和田415-101 TEL0476(22)4401 FAX0476(22)0091		
牛久支社 TEL029(872)6511 印刷出版局 TEL0476(24)7161		
香取支社 TEL0478(55)8621		

お客様コードNo. [REDACTED]

286-0843

千葉県成田市下福田 [REDACTED]

藤崎 勇一 様

TEL [REDACTED]

請 求 書

伝票No.

75

年 月 日

株式会社エリート情報社 代表取締役 長原 正夫
印刷出版局 〒286-0134 千葉県成田市東和田415-101
TEL 0476-24-7161 FAX=0476-22-0091
お振込先 [REDACTED] 普通

担当者: 城下哲也

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
藤崎ゆういち 成田市議会レポートVOL.6	3,000	枚	4.50	13,500	221003004
課税対象額	13,500 (消費税合計	1,350)	合 計	1,350	
摘要				14,850	

(様式3)

3. 広報費

《領収書添付用》

議員名 藤崎 勇一

①

領 収 証		No. 000789
藤崎 勇一 様		年 月 日
金 額	¥ 298,452 -	得 担
税抜金額	¥ 271,320	現金
消費税額	¥ 27,132	小切手
但	藤崎ゆういち 成田市議会レポートVOL.7	振 込
作成及び折込代として		
上記の金額正に領収致しました		
株式会社 エリート情報社		係
本 社 〒286-0134 千葉県成田市東和田415-10 TEL0476(22)4401		H26.13×50×20
牛久支社 TEL029(872)6511		
香取支社 TEL0478(55)8621		
印刷出版局 TEL0476(24)7461		

請 求 書

伝票No. 147

お客様コードNo. [REDACTED]

286-0843

千葉県成田市下福田 [REDACTED]

藤崎 勇一 様

TEL [REDACTED]

株式会社エリート情報社 代表取締役 長原 / 正
印刷出版局 〒286-0134 千葉県成田市東和田415-10
TEL 0476-24-7161 FAX 0476-22-0091
お振込先 普通

担当者：城下哲也

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
藤崎ゆういち 成田市議会レポートVOL.7	19,950 枚	9.80	195,510	221125001
藤崎ゆういち 成田市議会レポートVOL.7 折込	19,950 枚	3.80	75,810	221125002

課税対象額 271,320 (消費税合計 27,132)

合 計 27,132
298,452

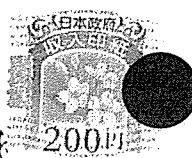
(様式3)

3. 広報費

《領収書添付用》

議員名 藤崎 勇一

①

領 収 証		No. 000792
藤崎 勇一 様		令和5年3月15日
金 額	¥344,955-	得 ☐ 担 ☐
税抜金額	¥313,545	現 金 ☐
消費税額	¥31,360	小切手 ☐
但 藤崎ゆういち 成田市議会レポートVOL.8 作成及び折込代として		振 込 ☒
上記の金額正に領収致しました		
		
株式会社 エリート情報社		
本 社 〒286-0134 千葉県成田市東和田415-101 TEL0476(22)3401		
牛久支社 TEL029(872)6511 印刷出版局 TEL0476(24)7161		
香取支社 TEL0478(55)8621		

(様式3)

3. 広報費

《領収書添付用》

議員名 藤崎 勇一

請 求 書

伝票No. 256

お客様コードNo. [REDACTED]

年 月 日

286-0843

千葉県成田市下福田 [REDACTED]

藤崎 勇一 様

株式会社エリート情報社 代表取締役 長原 正夫

印刷出版局 〒286-0134 千葉県成田市東和田415-10

TEL 0476-24-7161 FAX 0476-22-0091

お振込先 [REDACTED] 普通

TEL [REDACTED]

担当者：城下哲也

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
藤崎ゆういち 成田市議会レポートVOL.8	24,150	枚	9.50	229,425	230220003

課税対象額 229,425 (消費税合計 22,943)

摘要

合 計 22,943
252,368

--	--

請 求 書

伝票No. 257

お客様コードNo. [REDACTED]

年 月 日

286-0843

千葉県成田市下福田 [REDACTED]

藤崎 勇一 様

株式会社エリート情報社 代表取締役 長原 正夫

印刷出版局 〒286-0134 千葉県成田市東和田415-10

TEL 0476-24-7161 FAX 0476-22-0091

お振込先 [REDACTED] 普通

TEL [REDACTED]

担当者：城下哲也

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
藤崎ゆういち 成田市議会レポートVOL.8 折込	22,150	枚	3.80	84,170	230220004

課税対象額 84,170 (消費税合計 8,417)

摘要

合 計 8,417
92,587

--	--



成田市議会議員

藤崎ゆういち

会派/政友クラブ 副幹事長

所属委員会等/総務常任委員会 空港対策・機能強化等推進特別委員会副委員長 広報広聴委員会 印旛利根川水防事務組合

連絡先/〒286-0843 千葉県成田市下福田120番地2 TEL&FAX 0476-22-7199 発行/令和4年10月

成田のために働いた3年間のカタチ

私、藤崎ゆういち、成田市議会の一般質問において年2回登壇し、これまで数々の政策等を提言し、多くの事業が実現してまいりました。今後も、「今を変えるChange Now」をスローガンに、皆さまの声や思いに寄り添い、誰もが安心して住み続けられるよりよい地域づくりのために、引き続き力の限りを尽くしてまいりますので、より一層のご指導ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年6月

高齢者等の買い物弱者に対する支援策を

問 買い物に不便や苦勞を感じている高齢者等の買い物弱者に対する成田市の現状と支援策について問う。

答 外出支援については、社会福祉協議会の成田おたすけ隊やシルバー人材センターの買い物支援サービスなどが、有効に活用されるよう利用促進を図る。移動販売車による定期的な庭先販売については、近隣市町においても、庭先販売とあわせて地域の高齢者の見守り体制を構築している事例もあるため、今後の検討事項としたい。

実現 市では、株式会社ナリタヤと株式会社カスミの2社と「買い物支援と地域の見守り活動推進に関する協定」を締結し、生鮮品や日用品などを載せた軽トラックで市内を巡回する移動販売を開始。7月15日現在、計3台の軽トラックが市内125カ所で移動販売を行っている。



市内各地を回る移動スーパー

自宅への訪問や新たな場所での販売を希望する場合。
問い合わせ：市役所介護保険課 TEL.0476-20-1545

令和元年12月

土屋駅の実現に向けての需要予測調査を

問 土屋駅実現の課題解決に向け計画した需要予測調査について、今後の市の考え方は。

答 成田市では、土屋駅および現在の成田湯川駅である成田ニュータウン北駅について要望を行ったが、収支採算性等の観点から成田ニュータウン北駅のみの設置とされた。成田空港の更なる機能強化に伴い、空港と地域を結ぶ交通拠点としての土屋駅の役割がますます重要なものになると認識している。このことから、新駅実現の課題解決等に向けた需要予測調査について、本市単独で実施することを検討したい。

実現 令和2年度の予算を720万円計上し、需要予測調査を行った。今後も、土屋駅実現に向けて取り組んでいく。

令和2年9月

成年後見支援センター設置に向けて！

問 現在の市における成年後見制度の相談窓口体制、成年後見制度の利用促進に向けた体制整備について市の考えを問う。

答 成年後見制度の内容や必要性の周知が十分ではないことを踏まえ、制度に関する広報や後見人への支援などを行う「成年後見支援センター」の設置に向けて、準備を進めていく。来年度は検討会を開催し、本市の実情にあった「成年後見支援センター」のあり方について協議していく。

実現 令和4年6月1日から市役所高齢者福祉課内に「成田市成年後見支援センター」が開設された。

問い合わせ：市役所高齢者福祉課内成田市成年後見支援センター TEL.0476-20-1537

令和2年9月

消防団員の減少に歯止めを

問 消防団員が減少傾向にあることから、機能別消防団の導入や処遇の改善が必要である。団員の確保、消防団の充実強化について市の考えを問う。

答 消防団の負担を軽減するために、大変有効であると認識していることから、機能別消防団の導入に向け、組織体制や関係例規の整備などについて検討していく。また、装備の充実や若い世代が加入しやすい環境づくりなど引き続き消防団の充実強化に取り組んでいく。

実現 令和3年4月から機能別消防団が導入され、現在は59人が活動している。また、処遇の改善については、令和4年度から基本団員報酬が27,000円から36,500円へ、災害出動報酬が3,000円から8,000円へと引き上げられた。



印旛支部消防操法大会「ポンプ車の部」で優勝した成田市消防団

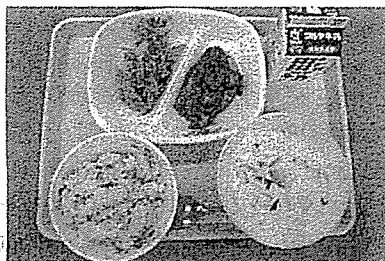
令和3年9月

給食費の無償化を含む負担軽減を

問 県内では、少子化対策や子育て支援の一環として給食費の無償化を含む負担軽減の動きが広がっている。給食費無償化に対する市の考えを問う。

答 千葉県教育委員会では、県内での給食費無償化の実施状況を踏まえ、支援のあり方を検討することを表明しており、今後、国や県の支援策および他自治体の動向を注視していくとともに、調査・研究していく。

実現 令和4年度から、市内の小中学校等に通う第3子以降の児童・生徒の給食費を無償化し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。今後も安心して子育てができる環境を整えるため、給食費の完全無償化に向けて取り組んでいく。



公津の杜小の給食献立

令和3年9月

農業経営の安定を図るため

問 コロナ禍による米価下落への対策として、飼料用米等の補助金確保について要望書が提出されたが、この要望に対する市の対応は。

答 県では飼料用米等拡大支援事業における助成単価の引き上げなど、飼料用米等の取り組みの定着や拡大を支援し、転換を推進している。飼料用米等の取り組みが大幅に増加したことに伴い、市独自の補助金も約6800万円増加するが、稲作農家の経営の安定を図るため必要なものと考えており、本定例会に補正予算案として提案している。

実現 飼料用米等拡大支援事業における助成単価の引き上げにより、飼料用米の取り組みが定着・拡大した。補正予算にて市独自の補助金が6800万円増額された。

令和元年12月

農業用施設被害に対する支援の拡充を

問 台風15号等による農産物被害や農業用施設被害に対する支援の拡充について、市としての取り組みは。

答 台風により被災した農業用ハウスや農業用倉庫などの再建、修繕にかかる経費は交付金を活用した支援を行う予定である。また、災害廃棄物の処理についても支援を検討している。

実現 交付金制度を活用した支援を行い、災害廃棄物の処理は、全額負担するなどの支援も行った。

令和元年6月

農業機械施設等の導入に対する支援の充実を

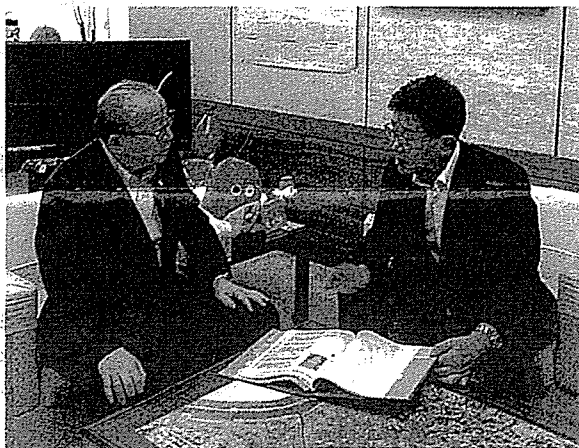
問 市の農業を取り巻く諸問題に、具体的にどのような政策で対応していくのかを、農業産出額等の状況も含めて問う。

答 市の農業産出額(平成29年市町村別農業産出額)は、全国32位(県内3位)であるが、農業を取り巻く現状は、後継者不足や高齢化で非常に厳しい状況が続いている。市の農業の健全な発展のために、市の各種補助事業に加え、国・県の補助事業も有効活用することにより、さらなる支援の充実にも努めていく。

実現 令和4年度の予算において、コロナ対策を含めた増額予算を確保した。集団営農用機械施設整備事業は、32,000千円から70,000千円へ、園芸振興対策推進事業は、29,280千円から40,000千円へ増額された。

プロフィール

- 昭和31年5月成田市下福田に生まれる。現在66歳
- 八生小学校、成田中学校、成田高等学校を経て、千葉経済短期大学商経科を卒業
- 成田市役所に40年間勤務(農政課、教育委員会総務課、教育計画課、社会教育課、商工観光課、企画課、秘書課長、環境部長、空港部長を経験)。成田市職員組合 委員長、文化部長、青年婦人部長。元 公益社団法人成田市シルバー人材センター常務理事
- 成田市消防団第3分団第4部部長、八生青年団団長、八生小学校PTA会長を経験
- 成田北部土地改良区総代、成田アマチュアゴルフ協合理事、成田市農業協同組合総代
- 家族：母、妻の3人家族。子供2人、孫3人
- 趣味：少林寺拳法四段、ゴルフ、書道
- 好きな言葉：半ばは自己の幸せを 半ばは他人の幸せを



中高同級生の小泉市長と成田市の未来を語る



ホームページ

<https://fujisaki-yuichi.net/>



成田市議会議員

藤崎ゆういち

会派/政友クラブ 副幹事長

所属委員会等/総務常任委員会 空港対策・機能強化等推進特別委員会副委員長 広報広聴委員会 印旛利根川水防事務組合
連絡先/〒286-0843 千葉県成田市下福田120番地2 TEL&FAX 0476-22-7199 発行/令和4年12月



さらなる子育て支援の充実へ

成田市独自の給食費完全無料化に向け前進！

私、藤崎ゆういち、市議会議員として活動させていただき、3年半が過ぎようとしています。この間、市民の皆さまからいただいたご意見やご相談をもとに、まちづくり・教育・子育て・農業振興・空港対策・高齢者対策・消防などのテーマで一般質問や各委員会等で質問させていただき、数多くの事業が実現してまいりました。これはひとえに、小泉市長のリーダーシップの下、スピード感を持って取り組んでいただいた賜物と感謝いたします。

令和4年9月議会にて、給食費の無料化、下金山・押畑・山口・松崎地区および下総松崎駅周辺のまちづくり、下総インターチェンジ周辺地域の開発と企業立地への受け皿づくり、郵便局の活用による行政サービスの充実について一般質問を行いました。

給食費無料化を含む負担軽減を

問 給食費の無料化についての県内の先進市の実施状況を見ると、浦安市が3子以降の児童・生徒の減免制度に加え、子ども1人にかかる教育費が年々増加していること、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少している家庭もあることから、進路の決定や準備など、特に経済的負担が大きくなる小学校6年生と中学校3年生の保護者を対象に、学校給食費を無料にしている。

8月24日の読売新聞によると、市川市で小中給食完全無料化に向けて、来年1月に中学校17校からスタートして、4月からは小学校38校を加えた55校で完全実施する。給食費の完全無料化によって市が約17億7千万を全額負担することになるが、「子育て世帯にやさしく 住みたい街」としてのイメージアップにもつながるというような記事が掲載されていた。本市の給食費の負担軽減の現状と無料化対象者の拡大の考えを問う。

答 本市の給食費無料化対象者の拡大の考えについては、既に多子世帯における経済的負担を軽減するため、本年4月から市立の小中義務教育学校に通う第3子以降の給食費を無料化した。今後は本市独自の給食費の完全無料化を視野に入れ、さらなる拡大に向け、前向きに検討していく。

要望 質問の中で紹介した浦安市や市川市の事例を参考にし、本市独自の給食費の完全無料化に向けて、市長のご英断を期待する。



山口・松崎地区のまちづくり

問 成田湯川駅周辺を生活拠点として位置付け、駅周辺に生活利便施設などの立地の誘導を図り、駅北側の市街化調整区域に良好な市街地が形成されるよう支援していきたい。県道成田安食線バイパスの沿道に産業機能の形成を促進していきたいとの答弁をいただいているが、小学校などの公共施設の改修や整備状況と併せて、まちづくりの考え方について問う。

答 山口・松崎地区については、下金山・押畑地区と同様に市街化調整区域になるため、開発行為や建築行為が制限されているものの、成田湯川駅周辺は、駅の利便性を活用し、住宅や生活利便施設の立地を誘導することで、計画的な市街地形成を促進すべき区域である。地域の意向を踏まえた新たな住宅地の開発計画が提案された際には、市街化区域への編入を検討していく。

県道成田安食線バイパスの沿道については、新たな開発計画が提案された際には、工場や物流施設などの立地誘導により、産業機能の形成を推進していく。

松崎地区の公共施設の整備については、教育環境の改善および建物の耐久性の確保を図るため、昭和54年に建築した八生小学校東棟の大規模改造工事を実施するとともに、八生児童ホームも整備を行い、定員を拡充した。松崎保育園も老朽化が進んでいることから、昨年度より八生公民館の敷地内で令和6年度の開園に向け再整備を進めている。

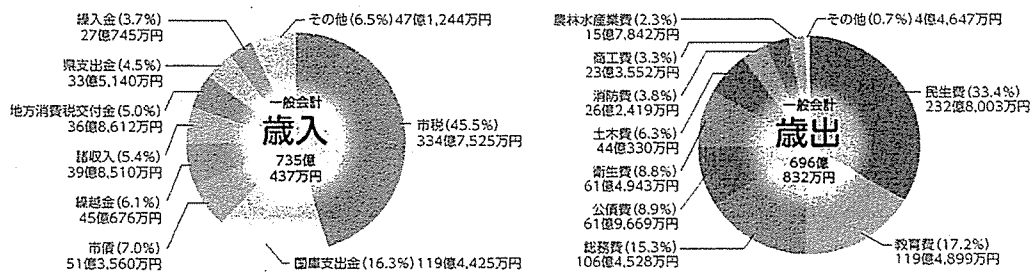
道路事業は、成田湯川駅および成田ニュータウン方面へのアクセス確保による地域間交通網の拡充や、歩道設置により通学路の安全性を向上させるべく、市道松崎塙下湯川線と松崎中郷線の整備を継続して行い、来年度末の完成を目指している。

要望 湯川駅周辺では、新たな住宅地などを整備しようという動きもあるので、地域の皆さんの意向を踏まえた新たな住宅地の開発計画が提案された場合は、積極的に支援をお願いしたい。

9月20日から22日までの3日間

決算特別委員として審査いたしました

市の家計簿ともいわれる決算は、皆さんの貴重な税金が何のためにどのように使われているかを知るための貴重な指標となります。決算特別委員会はその認定審査のために設置された極めて重要な委員会です。令和3年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入が735億437万円、歳出が696億832万円でした。



コラム 今を変える

ご存じですか?

成田市は、住みよさランキング2022で全国36位、千葉県2位にランクイン!

「出産や子育ての希望や理想がかなうまち」を目指して

小泉一成成田市長が令和4年9月議会一般質問の答弁で、成田市の子育て世代に向けたまちづくりの展望について語っています。

本市が持続的に発展していくためにこれまでも、成田空港の更なる機能強化の推進や、国際医療福祉大学医学部の開学と附属病院の開院、ワンストップ輸出拠点機能を備えた新生成田市場の開場など、本市のポテンシャルを最大限に活用した取り組みを進めてきました。今後はさらに国家戦略特区を活用した規制緩和の推進による産業の集積や、広域交通ネットワークを活かした、空港周辺における物流、空港関連産業などの企業誘致を促進し、新たな産業や雇用を創出することで、賑わいと活気あふれる持続性のあるまちづくりの実現が図られるものと考えています。

成田市の人口は減少に転じており、特に20代後半から30代にかけての年代の転出が顕著です。本市は、東洋経済新報社が公表している全国自治体の「住みよさランキング2022」において、全国36位、県内2位に位置付けられています。一方では、ちばぎん総合研究所が公表している「数値でみる千葉県市町村の地方創生」で、子育てや住環境、観光などの10分野を偏差値化した調査結果で県内2位となるなど、生活の利便性や子育て施策をはじめとした各種行政サービスは充実していると考えられ、本市への定住希望は高いものと見込まれます。

しかしながらこれらの年代が転出超過となっている要因は、市内で新たな住宅地の開発や新築マンションなどの住宅供給が少ないため、結婚や出産を契機に新築の住宅を求めて新興住宅地の開発が進む他自治体へ転出していることにあるものと推測されます。次代のまちづくりの担い手である若者や、子育て世代の転入促進と転出抑制を図ることは大変重要な課題であります。

新たな住宅供給に向けた環境を整えるため、不動産関係の土地地区画整理事業や、吉倉・久米野地区の新たなまちづくりを進めるとともに、結婚、出産、子育てまでの各ライフステージに応じた切れ目のない包括的な支援として現在、結婚新生活支援事業や産後ケア事業の実施、給食費の負担軽減、子ども医療費助成の拡充など、各施策に取り組んでいます。今後も将来のまちづくりの担い手である若者や子育て世代が住んでみたい、住み続けたいと思える魅力的なまちづくりに取り組んでまいります。



新たなまちづくりのため小泉一成成田市長に、令和5年度の予算要望書を提出

藤崎ゆういちの所感

私の掲げるスローガン「今を変える Change now」を實踐し、今住んでいる人が幸せに暮らし、誰もが安心して住み続けられるまちづくりに向けて、小泉一成成田市長と政友クラブの同志と共に、スピード感を持って取り組んでまいります。

藤崎ゆういちプロフィール

- 昭和31年5月成田市下福田に生まれる。現在66歳。
- 学歴:八生小学校、成田中学校、成田高等学校を経て、千葉経済短期大学商経科を卒業。
- 職歴:成田市役所に40年間勤務(秘書課長、環境部長、空港部長を経験)。元公益社団法人成田市シルバー人材センター常務理事。

- 成田北部土地改良区総代、成田アマチュアゴルフ協会理事、成田市農業協同組合総代。
- 家族:母、妻の3人家族。子ども2人、孫3人。
- 趣味:少林寺拳法四段、ゴルフ、書道。
- 好きな言葉:半ばは自己の幸せを 半ばは他人の幸せを

ホームページ

<https://fujisaki-yuichi.net/>





成田市議会議員

藤崎ゆういち

会派/政友クラブ 副幹事長

所属委員会等/総務常任委員会 空港対策・機能強化等推進特別委員会副委員長 広報広聴委員会 印旛利根川水防事務組合

連絡先/〒286-0843 千葉県成田市下福田120番地2 TEL&FAX 0476-22-7199 発行/令和5年2月



市役所40年と議員活動4年の経験を活かし、 政策実現に向けてスピード感を持って取り組みます。

向春の候、皆さま方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より藤崎ゆういちの議員活動に対し、ご理解を賜り誠にありがとうございます。平成31年4月21日の成田市議会議員選挙で初当選させていただいてから、早いもので4年が過ぎようとしています。

今号は前号に引き続きまして、令和4年9月議会の一般質問および決算特別委員会で質問しました、下金山・押畑・下総松崎駅周辺のまちづくり、下総インターチェンジ周辺地域の開発と企業立地への受け皿づくり、郵便局活用による行政サービスの充実、豊住小学校の取り組みについて紹介します。

下総松崎駅周辺のまちづくり

問 JR成田線の活性化や利用者の増加を図るため、沿線の関係自治体により構成されている成田線活性化推進協議会の事業展開の具体例と、下総松崎駅周辺のまちづくりも伺う。

答 成田線活性化推進協議会は、沿線地域の持つ魅力と個性を周知するため、JR成田線の歴史やイベント情報などをホームページなどで発信している。昨年4月に、成田～我孫子間が開業120周年を迎えたことから、記念列車の運行や式典などを実施した。また、安食駅から下総松崎駅まで、全長約9.5キロメートルのコースを歩いて巡る「駅からハイキング」を実施し、多くの参加者があった。

下総松崎駅周辺のまちづくりについては、市街化調整区域であり、新たな大規模開発の計画は無いが、地域の意向を踏まえた上で、駅の利便性を生かした新たな住宅地などの開発計画が提案された際には、良好な市街地が形成されるよう支援していく。

要望 JR成田線の活性化に向けて引き続き、沿線自治体や関係機関と連携を図りながら取り組んでいただきたい。



下総松崎駅

下総インターチェンジおよび(仮称)成田小見川鹿島港線インターチェンジ周辺の開発と産業機能の誘導

問 圏央道の完成も見据えた、両インターチェンジに関連する道路の整備状況と、インターチェンジ周辺の開発と産業機能誘導について伺う。

答 基盤となる両インターチェンジ周辺の道路整備状況については、下総インターチェンジ周辺では、県道成田下総線と接続し、神崎町へと連絡する市道成田神崎線の整備を進めており、切土による大規模な造成工事を毎年度、継続的にやっている。

(仮称)成田小見川鹿島港線インターチェンジ周辺では、千葉県により、接続する県道成田小見川鹿島港線の4車線化が、圏央道の進捗に合わせて進められており、本年度は、天神峰及び川上地先において工事を実施する予定である。本市においても、県道と新生成田市場を結ぶ市道水の上新田線については圏央道同様、圏央道の広域アクセス性を生かした新生成田市場のさらなる活性化や産業機能の誘導にもつながることから、社会資本整備総合交付金などを活用しながら、整備を推進する。

両インターチェンジ周辺の開発と産業機能の誘導の現状については、本市に新たに進出する企業に対しては、新設に伴う工場等の固定資産税相当額を限度とする誘致奨励金や、操業に伴う市民の雇用者数に応じた雇用奨励金を交付し、支援を行っている。昨年度からは、各奨励金の交付要件を緩和するとともに、交付の期間を延長し、より一層、企業が新規に進出しやすい環境整備を図ったほか、既存の工場等の増設に対し交付する再投資奨励金を新設し、事業拡大の支援が図られるよう、制度の拡充を図った。

今後についても、企業がより進出しやすい環境整備に努め、本市の産業のさらなる振興と、魅力あるまちづくりに取り組んでいく。

要望 企業立地促進のための企業ニーズなどの調査を行うなど積極的に取り組んでいただくよう要望する。

誰もが安心して住み続けられる地域づくりを目指して。

郵便局の活用で行政サービスの充実を

問 地方公共団体が地域の郵便局と協力して、住民サービスをより効率的に提供できるようにするため平成13年に「地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律」が制定されており、この法律によって、地方公共団体は、住民票の写しや印鑑登録証明書の交付などの事務について、郵便局に委託することが可能になっている。

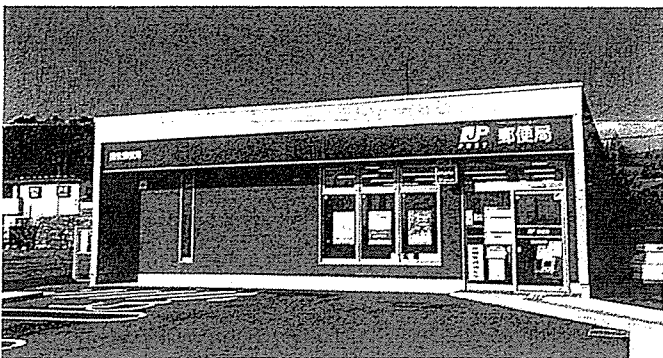
成田市においても郵便局は、安全・安心で、交流拠点としての機能を持ち、地域コミュニティ機能も併せ持つ身近な金融機関として、地域の皆さまから親しまれており、気楽に行きやすい場所である。

本市では、平成29年3月24日付で、市内郵便局との市民サービスの向上に係る包括連携に関する協定を締結しており、証明書等の交付に関する事務を郵便局に委託することについて、市の考えを問う。

答 本市では、平成29年3月に市内郵便局と包括連携協定を締結し、道路損傷や児童生徒の見守り活動に係る情報提供など、様々なご協力をいただいているところであり、身近な郵便局で証明書の交付や申請手続きなどが行えることは、住民サービスの向上に寄与するものと考えている。

郵便局とは、これまでも包括連携協定における取り組み状況に関する意見交換を行ってきたが、本年度に入り新たに郵便局を活用した行政サービス等についての情報提供をいただいているので、今後も定期的な情報交換を行いながら検討していく。

要望 郵便局の活用については、市役所から遠い地域にお住まいの方に対する利便性の向上や、住民サービスを低下させないよう、行政サービスを補完する役割を担っていただけたらと思う。今後も、どのような住民サービスの充実が図られるのか、郵便局と積極的に協議してもらいたい。



豊住郵便局

下金山・押畑地区のまちづくり

問 土屋駅設置に向けて、土屋地区と隣接している同地域における夜間人口の増加の受け皿になるのではと思うが、まちづくりの考え方について伺う。

答 共に市街化調整区域になるので、原則として開発行為や建築行為が制限されていて、大幅な人口増加につながるような新たな大規模開発の計画はない。市街化区域から1.1キロメートルの範囲内に40以上の建築物が連たんしているなど、条例で規定している連たん制度により、新たな宅地分譲などが行われている。今後も連たん制度や地区計画制度を活用することで、地域の活性化と環境の保全を図りながら、地域の特性に応じた有効な土地利用を推進していく。

要望 市街化調整区域内の開発手法である連たん制度や地区計画制度を活用して新たな宅地分譲や生活利便施設や産業施設などの立地誘導を図り、地域の特性に応じた有効な土地利用を推進していただきたい。

特認校支援事業

「小規模特認校制度」を導入した豊住小学校

問 学区外の地域からも通学することを認める「小規模特認校制度」を令和3年度からスタートした豊住小学校では、小規模の特性を生かしながら他の学校とは一線を画する特色ある教育を展開されたとのことであるが、どのように取り組まれているのか伺う。

答 小規模特認校における特色ある教育は大きく3つある。1つ目は、英語活動の充実。外国人英語講師(ALT)は、通常週3日勤務のところを豊住小学校では週5日勤務しており、児童が英語に触れる機会が多い環境にある。放課後に希望者を対象とした英会話教室を週に1回、低・中・高学年に分かれて実施しており、少人数の生活の中で日常的な英語活動の充実を目指している。

2つ目は、思考力教材アプリケーションを導入し、継続的に思考力の向上に取り組んでいる。

3つ目は、英語検定、算数検定などの検定を積極的に取り組み、学習意欲の向上を図っている。

要望 「子どもたちが学びたい、子どもを学ばせたい魅力ある学校にしていきたい」という校長先生の思いをくんで、学校活動のさらなる充実のためにも、実績のある優秀な先生を派遣していただくなど、これまで以上に教育委員会のご支援をお願いしたい。

コラム4 「今を変えることば」 Words that change now

求められているのは、競争よりも変化である。同じ土俵で競うのではなく、次々に変化し土俵を変えていくことが評価されるのである。(鈴木敏文・日本の実業家、元株式会社セブン&アイ・ホールディングス代表取締役会長)

成田市の変化に対応し、過去にとらわれず、「今を変える Change now」をスローガンに、今住んでいる人が幸せに暮らし、誰もが安心して住み続けられる地域づくりが実現できるように取り組んでまいります。